

すぎもと とし たか
杉本敏隆 議員

シジミ漁など漁業振興を

問 島根県宍道湖を視察した。ヤマトシジミの厳格な資源管理で琵琶湖のセタシジミの70倍の漁獲をあげている。学ぶ必要があるのではないか。

知事 大いに学ぶところがある。琵琶湖方式の資源管理の仕組みをつくるのが大切だ。

問 資源増殖、水産基盤整備、新規就業者育成がバラバラだ。施策を一体的に推進し、成功モデルをつくるべきだ。

知事 今後の施策をより効果的に展開できるようにしていきたい。

農産物輸入自由化に反対を

問 TPP11、日欧EPA、日米FTAによる農産物輸入自由化は、日本の食料主権を放棄し、農業と食料供給、食の安全を危機に陥れるものだが、どう考える。

知事 県民が健康に安心して暮らしていくためには、地産地消を進め、食の安全・安心を確保することが必要であると認識している。

障害者施設・後期高齢者医療について

問 住倉安土元気園における職分分離の逸脱をどう正すか

健康医療福祉部長 本人および家族の意思により選択され、地域交流の確保に努めている。

問 グループホームと作業所を一体で運営しないという当初計画とはかけ離れている。障害者権利条約に反するものか。

健康医療福祉部長 状況を十分注視していきたい。

健康医療福祉部長

問 後期高齢者医療費の窓口2割負担は許されない。所見を問う。

健康医療福祉部長 必要な医療への受診抑制につながるような慎重な検討が必要。

問 高齢者スポーツ支援を強めるべきだ。希望が丘文化公園の有料利用者から駐車料金を徴収するのはやめるべきだ。

スポーツ文化部長 駐車場利用料取り扱いは、懇話会等で検討したい。



ふし き みちよ
節木三千代 議員

公的・公立病院の再編・統合の撤回を

問 厚生労働省が、大津赤十字志賀病院など再編・統合の議論を促すとして県内では5病院が名ざししたが、「病院を残してほしい」という県民の思いを受け止めるべき。

知事 どれも大切な病院だ。地域の実情を踏まえ、地域の皆さんの声を聴きながら、丁寧にするべき。

問 再編・統合リスト公表の撤回を

知事 県内どこに住んでも必要な医療を受けていただける体制づくりについては認識を共有する。

精神障害者の医療費助成の拡充を

問 知的、身体、精神障害者のなかで、なぜ精神障害者は、福祉医療助成制度にはいっていないのか。

知事 一定違いがあることは認識させていただいた。

場面緘黙症小学6年生への通学支援を

問 精神障害者も、他の障害者と同様に他科診療、入院の助成を求めたい。

知事 よく調査し、結果を踏まえて検討していきたい。

場面緘黙症小学6年生への通学支援を

問 場面緘黙症小学6年生Mさんの特別支援学校中学部への通学支援を保護者責任ではなく、県の責任で行うべき。

知事 Mさんから知事への手紙をいただいている。しっかりと私自身も関与しながら考えていきたい。

【その他】

湖東記念病院における冤罪事件について



まつもと とし ひろ
松本利寛 議員

激甚災害に備え「流域治水」の強化を

問 気候変動による豪雨災害はダム治水の限界・危険性を示したが異常豪雨を考慮した「流域治水」の強化が必要ではないか。

知事 ダムだけに依存しない流域治水を構築する。気候変動に伴う災害激甚化を見据え河川整備を加速させ「流域治水」の充実を図る。

問 氾濫リスクの高い箇所の改修や堤防強化を行うべきだ。特に「耐越水堤防」の事業化と財政措置を国に求めるべきと考える。

知事 氾濫リスクが高い箇所は、樹木伐採や土砂掘削対策を講じ、堤防の補強を優先して取り組む。また「耐越水堤防」は、越水に対する堤防強化技術の確立を国に働きかける。

問 遊水地や霞堤、2線提等の機能活用で「流域治水の強化」を求める。

知事 河川改修と合わせ霞堤等の効果等を再評価し機能の復元整備を検討する。

高い国保料の「均等割」廃止を

問 高い国保料の「均等割」廃止を国に求めるべきだ。

知事 子どもの「均等割」見直しは、他の都道府県の意見も伺い、国に要請する。

教員の「変形労働制」はやめよ

問 教員の変形労働制は「時間外労働の削減に繋がらない」導入すべきでない。

教育長 民間労働法制は1年単位の變形労働は、恒常的時間外労働が無い事を前提とした制度だと認識する。



き の せ あきこ
黄野瀬 明子 議員

国立大学の授業料減免制度の存続を

問 修学支援新制度実施の一方で、授業料減免制度が廃止されると県内3大学で支援の減額・打ち切りになる学生は何人か。

総務部長 県立大学で5人が打ち切り、6人が減額。国立大学でも一定数の学生が支援の対象外になる。

問 国に対し国立大学の授業料減免制度の存続を求めるべきと考える。

知事 国が検討し、国立大学法人でも検討されるもの。県は検討状況を注視し、必要な要望事項があるとなれば即応する。

問 県立大の減免制度の存続は県の責任ですべき。

知事 県立大で検討されている。必要な相談、協議等にはしっかりと応じる。

北天津養護学校のトイレ改修を

問 北天津養護学校の男女共用トイレは人権問題として、直ちに改修されるべき。

教育長 早期に改善し、学習環境の改善を図る。

安全・安心な学校給食の食材提供を

問 学校給食のパン食材の8割を輸入小麦を使用しているが、発がん性の疑いのあるグリホサートが検出されており、安全・安心の滋賀県産か国産100%にすることを求める。

教育長 食材の安全性について常に情報収集し安全・安心な学校給食ができるよう市町・給食関係者と考える。



11月定例会議での議案、請願・意見書に対する各党の態度

主な議案・意見書	日本共産党	チームしが	さざなみ倶楽部	自民党	公明党	無所属	採否
知事など特別職・県議の期末手当引き上げの補正予算・関連議案	●	○	○	○	○	○	可決
福祉職員の大幅増員・処遇改善求める請願	○	○	●	●	●	●	不採択
公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める請願	○	○	●	●	●	●	不採択
1年単位の変形労働時間制導入の中止を求める意見書	○	○	●	●	●	●	不採択
後期高齢者医療制度の窓口負担を現行1割で継続を求める意見書	○	○	●	●	●	●	否決
要介護度1.2の介護サービスを保険給付から外さないよう求める意見書	○	○	○	●	●	●	否決

※意見書は日本共産党が提案 ○賛成 ●反対

涙が出た議会質問

場面緘黙症の12歳の少女の支援について、春から養護学校に通学するのだが障害があるためバスに乗れるかどうか分からない。障害に応じた通学支援が必要とふしき県議が取り上げた。12歳の少女が一生懸命に知事に宛てた「中学校に行くのに力を貸してください」との手紙を紹介。12歳の子どもにこんなことまでも言わせる県政はどうか。県民の声が質問となって議場に響いた。傍聴していた私は涙がこぼれた。4人の県議団の質問には県民の生の声が込められている。これからも県民の声を届けてほしい。

前 近江八幡市議 井上さゆり